



戸塚教会だより

2025年10月号 No.243 発行：カトリック戸塚教会

皆が集い安らげる教会

《2025年度活動方針》

金持ちと貧しいラザロ

主任司祭 田丸 篤

ルカ福音書に自分の目の前の貧しいラザロの姿に目を留めなかった金持ちの話があります。この世で苦しんだラザロを慈しみ深い神様は、手厚くもてなしてくださいませ。しかし、この世で人の苦しみに気づかない生活を続けた金持ちは、その宴席に入ることができません。イエス様がなさったたとえ話ですが、単なる話ではなく、神の子であるイエス様が表してくださった神様からの真理として受け止めなければなりません。神様の私たちへの望みは、貧しい人々の生活や姿に目を向けていくこと。そしてその状況を知っていくことです。たとえに出てくる金持ちのように目の前に横たわるラザロに無関心になるのではなく、心を配っていくこと。これは簡単ではないかもしれません。口で言うのと実際に行うのとでは違います。それでも、私たちが心にとめたいのは、神様はそのような私たち同士の関わりを望んでおられるということです。貧しくお腹をすかせて一生を送らなければならなかったラザロのような者が一人も存在しなくなるように互いに知恵を出し合い、愛の心を大きくすることです。

このたとえ話のポイントは、金持ちがラザロの存在に気づかなかったことにあります。ラザロは直接に金持ちに助けを訴えたわけではありません。しかし貧しいラザロの存在そのものが叫びであり、問いかけだったので。金持ちはやはり、その叫びを聞き取り、その問いかけに応えるべきでした。声なき

叫びを聞き取ることができなかったことに、金持ちの責任が問われています。貧しい人々に対する私たちのあり方が、死後の私たちの姿を決定します。この世と永遠の世はつながっています。私たちの一生のひとこまひとこまの中に、永遠の世界につながる重さがあります。私たちの周りの声なき叫びに心の耳を開き、それに応えていくこと。「叫びに応える」これがこの福音のイエス様からの大事なメッセージです。

私たちがいつも神様に心を向け、神様の望みを生きることができるよう。そしてラザロのような存在が一人もいなくなる世界にしていくことができますように。金持ちが願ったように、亡くなった人がもう一度この世に現れて真理を語ってくれるのを待つのではなく、すでに示されているイエス様の真理に耳を傾け、それを生きることができるよう。その歩み、生き方を通して私たちが真の命を生きる喜びを見出すことができますように。そのために私たちが普段からイエス様を意識し、イエス様と対話し、イエス様とつながって歩むことが大事です。イエス様とつながってはじめて貧しい人々への愛を表すことができます。いつもイエス様を求めていくこと、イエス様とつながること、それを通して力をいただき、愛の実践を通して永遠の命の喜びに私たちも与ることができますように祈りたいです。

『シノドスハンドブック』を読んで

T.H

日曜日に戸塚教会に来て、「このままでいいのだろうか」と心配になることがあります。ミサの参加者が減って高齢化が進んでいるのは、きっと皆さんも感じておられることでしょう。けれども、よく考えるとこれは戸塚教会だけの問題ではなく、少子高齢社会の日本全体が抱えている現実でもあります。だからこそ、「ではこれからどうしていけばいいのか」と自分に問いかけると、簡単に答えは見つからず、言葉に詰まってしまうのです。

そんな中で出会ったのが『シノドスハンドブック』(2024年7月31日、日本カトリック司教協議会シノドス特別チーム著、カトリック中央協議会発行)でした。これは、シノドス第一会期と第二会期の間に出版されたもので、私たちが「これからの教会」を考えるうえで大きなヒントを与えてくれる冊子です。本稿では、特に心に残った部分を皆さんと分かち合いたいと思います。

『シノドスハンドブック』の構成について



『シノドスハンドブック』(以下、『ハンドブック』という)は32ページの小冊子ですが、シノドスの全体的な考え方を簡潔に知ることができます。『ハンドブック』では、「シノドス的(ともに歩む)」教会とはどのような教会なのか、また、そのような教会を作り上げていくためには、何が必要なのかを教えてください。「はじめに」の後、「シノドスQ&A」として、『シノダリティ』について、『シノドス的』な教会になるために、『霊における会話』について、宣教について」と続きます。後半の16ページからは、付録として「霊における会話」についての祈り・準備・やり方の実際などの実践的な解説が書かれています。

教皇フランシスコはこう語っています。「このシノドスとはシノダリティについてのものであり、他

のあれこれのテーマについてはありません。……重要なのは、考察する方法、つまりシノドス的方法です(7ページ)」。大切なのは「何かテーマについて考える」よりも、「どのように一緒に考え、語り合い、聴き合うか」だということです。この姿勢こそが「ともに歩む教会」の出発点だということです。

時代と地域に寄り添う教会とは

『ハンドブック』のことばの中で、特に印象に残ったのは次の文章です。

「教会は歴史の流れに合わせて、しなやかに成長していくのです。教会は時代と地域に寄り添いながら歩いていくのです(10ページ)」。

『シノダリティ』という視点から、すなわち『ともに歩む』という立場から、教会は改革される必要があります。どのように変わらなければならぬかは、神ご自身が教えてくださいます(同上)」。

さまざまな問題を抱える現代という時代と、宗教がともすれば批判的に見られがちな日本の社会に向き合いながら、時代と地域に寄り添う教会とは、どのような教会をイメージすればいいのでしょうか。

たとえば、マザーテレサは、インドで学校の教師として派遣されていましたが、街にあふれる貧しい人々を目にして、ただちに行動を起こしました。その働きが「神の愛の宣教者会」につながったのは皆さんもご存じのことだと思います。マザーテレサは、その地域に今、本当に必要とされていることを見抜き、それに応えたのです。私たちも、戸塚という地域に求められている教会の姿とはどのようなものだろうか、と考える必要があるのではないのでしょうか。

信仰の共同体について

現代では、共同体にはしばしば重荷、自由を制限するものといったネガティブな響きを感じる人がいるかもしれません。SNSの普及や個人主義の進展で、人との関わりをできるだけ避け、自分の自由を守るために共同体から距離を取る傾向があります。しかし、『ハンドブック』では、共同体の重要性を強調しています。

『ハンドブック』では次のように書かれています。
『『ともに歩む』教会となるためには、人とのつながりである共同体、共同体による共同責任、そして、聖霊の働きを見極める共同識別が求められます(11 ページ)』。

「教会にとって欠かせないのは『交わり』が生まれるための『集い』であり、『共同体』です。キリスト者は、共同体を通じて神に出会い、人に出会います。共同体のおかげで信仰が育まれます(同上)」。

戸塚教会では、「共同宣教司牧の学び直し」などの研修会が、2023年12月から3か月に1回のペースで続けられてきました。研修会では、講師による講話のあと、グループに分かれて、「霊における会話」を実践する機会が増えてきました。これこそ、「交わり」が生まれるための「集い」になっていると思います。実際に顔を合わせて、「霊における会話」を体験すると、互いに耳を傾けることの大切さを実感できます。

おわりに

戸塚教会がこれから歩むべき道は、現状の課題を

直視しつつ、聖霊の導きに信頼して「ともに歩む」教会の姿を具体的に形づくっていくことではないでしょうか。「霊における会話」を積み重ねて、地域社会の中で必要とされる教会の姿を見だし、信徒一人ひとりが責任を担いながら協力し合うことが求められています。戸塚教会が「ともに歩む」共同体を築き上げ、地域に根ざして福音宣教ができるよう祈りながら、小さな一歩を積み重ねていきたいと思っています。

ここに引用した箇所は、私なりに大切にしたいと思った箇所です。人によって重点の置き方も違ったものになると思います。カトリック中央協議会のシノドスのサイトからダウンロードできますので、ぜひこの『シノドスハンドブック』を読んで、『ともに歩む』教会についてお考えを分かち合っていけたらと思います。

なお、シノドスについて詳しくは、2025年6月30日に《シノドス最終文書》として『シノドス流の教会——交わり、参加、宣教』がカトリック中央協議会より発行されています。

『シノドスハンドブック』の URL https://www.cbcj.catholic.jp/wp-content/uploads/2024/08/synod_handbook.pdf



第5 地区一粒会祈りのリレー (9月、10月)

〈9月:戸塚教会〉

聖なる父、全能永遠の神、あなたに賛美と感謝をささげます。

あなたの道を示してくださる新たな司祭の召し出しと成聖、神学生の養成に向けて、あなたの息吹を送ってください。

どうか、わたしたちの中の一人でも多くに、聖なる召命がくだりますように。

〈10月:中和田教会〉

いつくしみ深い父よ、あなたの民を顧み、イエス・キリストのために生涯をささげる司祭、修道者の召命をお与えください。

聖霊の恵みと力に支えられて、多くの青年があなたの招きにこたえてあなたの愛に強められて、兄弟姉妹に奉仕する心を与えられますように。

福祉部からのお知らせ

教会だより 10月号から毎月、7項目の LSGs を 1項目ずつ掲載します。

1 地球の叫びにこたえて

気候危機、生物多様性の喪失、エコロジカルな持続可能性、そのどれにも等しく対処しつつ、すべての人の人間らしい生のために、わたしたちがともに暮らす家を守るようにという呼びかけです。具体的な実践としては、再生可能エネルギーの導入、エネルギー自給率の向上、カーボンニュートラルの達成、生物多様性の保全、持続可能な農業の推進、すべての人への安全な水の供給確保などがあります。



司教協議会ラウダート・シ部門 HP より引用

1) 関内支援グループ

米の寄付 8月は 72Kg、9月は 18Kg の支援をいただきました。毎月第 1 土曜と日曜の主日のミサ時に寄付を募ります。受付室の箱に入れて下さい。(LSGs - 2,7)

2) 福島やさい販売

10月26日(日)のフリーマーケットと同時開催です。(LSGs-7)

3) 「こども家庭支援センターくらき」移転 10 周年記念行事

9月23日の式典には、「ファミリーホーム等支援グループ」を代表して同じ地区にお住まいの F さんが参加し、戸塚教会信徒 4 人がボランティアとして手伝いました。(LSGs-2,7)

《 F さんの感想です 》

「くらきの十周年記念式典に行ってきました。社会福祉の偉い方々がたくさん見えていました。式典後、クラフト、缶バッジ作り、お絵かき、割り箸で作る鉄砲、ドングリで遊ぶインテリア映像紹介等、屋内外で賑やかに行なわれました。くらきの子供達は勿論、くらきを出て生活している子供達やその友人達がたくさん来て賑やかでした。分譲地が出来て 50 年余り、高齢化して静かな地域ですが、鉄筋コンクリートの立派な建物のくらきだけは子供達のエネルギーに溢れて賑やかな一角です。」

4) ステラマリス毛糸の帽子サークル

毎月、第 4 水曜日 13 時～15 時に 2 階の集会室で、クリスマスに横浜港で、主にアジア出身の船員さん達にプレゼントする毛糸の帽子を編むグループです。気軽に参加して下さい。次回は 10 月 22 日です。(LSGs-2,7)

- 5) 9月21日に中和田教会で開催された、めぐみ在宅クリニック・小澤竹俊先生による講演、「より良き最期を迎えるために」は、信徒、地域の方で聖堂の席が埋まりました。一人ひとりに関係する問題です。動画を下記の QR コードでご覧いただけます。(LSGs-6)

<https://youtu.be/vLlJaIoNyf4>



教会委員会からのお知らせ

教会委員会の議事録から

※委員会議事録のうち、信徒の皆さんにお伝えしておきたいことがらを抜粋しています。議事録の詳細は事務室に備えているファイルをご参照ください。なお、項番は議事録原本のものです。

【日時】2025年9月13日10:00~12:30

【場所】戸塚教会2階会議室

【開催の挨拶（主任司祭）】

102歳の聖母の園修道院のシスターが帰天された。今週末は敬老のお祝いのミサが行われるが、改めて、教会に来ることができない方も、教会のメンバーであることを忘れないように。教会に来ることができないご高齢の方々を、私たちは共に歩むものとして、つながっていくことを大切にしたい。

【議事】

1. 協議事項

(1) 屋上防水工事について（管財）：資料「カトリック戸塚教会 教会建物の屋上防水の施工の承認願ひ」参照

① 屋上防水工事の工事許可願ひを作成し、教会委員会で検討ののち、横浜教区建設委員会に送付予定。

② 10月以降工事用資材の高騰が懸念されるので、資材の先行購入依頼を業者にかけたいところだが、教区建設委員会の結果を待ってから行う。

(2) 防犯カメラ設置について（総務）：中心となって進めてこられた総務部Kさんご同席いただいたうえで、総務部資料「防犯カメラ仮設置報告」、関係資料「『防犯カメラ』設定・設置に係る中間報告」、「カトリック二俣川教会 防犯カメラヒアリング報告」および「教会防犯カメラ設置・運用規程（案）」を踏まえて検討をした。

① 資料「防犯カメラ仮設置報告」をもとに6月~7月下旬にかけての試行稼働、運用について報告。

本運用に向けて、内外1台ずつ設置する方向で検討する。検討に当たっては総務部委員およびKさんや受付グループの皆さんに加え、管財部の情報環境に詳しい方などに適宜参加いただき、「防犯カメラ設置・運用」の正式・迅速な実現を目指すこととなった。

② 教会防犯カメラ設置・運用規程案を作成（Kさん）。上記検討活動の経過に併せて、映像データの取得（取得者限定）・利用（利用者限定）・送信（共有含め原則禁止）・保管バックアップ（限定者実施）・削除廃棄（限定者実施）の各フェーズにおけるシステム稼働環境・アクセス権制限など、情報セキュリティ上での対策内容を定め、規程化・実施方法をまとめ、必要要員への訓練などにつなげることとする。

(3) 再提案：第3週日曜日ミサ後の信徒同士の交流についての試み（総務）

◆2025年度教会方針「皆が集い安らげる教会」を実現するた

めに、段階をふんで信徒同士の垣根を低くして交流を深めていく。

・第1ステップ：近くにいらっしゃる、普段あまり話したことのない方2~3人と話してみる。（自己紹介、天候について、など。打ち解けてきたらその日のテーマを決めて話してみる。）※1回目は一人1分×2~3人でよい。

・第2ステップ：お茶を飲みながら少しゆっくりと

・第3ステップ：テーマを決めて分かち合い

※ステップアップは様子を見ながら進める。

→第3週ではなく、皆で楽しめるレクリエーション日にあてている第1週に、ボードゲームなどをしながらおしゃべりしてみてもどうか。

教会委員はより積極的に戸塚教会に来て間もない方、久しぶりに見えた方に声をかけるようにしたほうがよい。

※9月第3週（9/21）ミサ後に試行的に声をかけあってみることとする。

(4) ミサ行事日程表の確認（広報）

資料「2025年度ミサ行事日程表」をもとに加筆訂正を行った。

→大掃除（予定）11/15・16、クリスマス飾りつけ（予定）11/23

2. 報告事項

(1) 主任司祭

9月28日（日）10時半のミサ後の「お知らせ」の時間にて日本聖書協会の方に5分~10分程でお話していただく。

（再確認）

(2) 教会委員長

9月第4週日曜日ミサ後の掃除は、椅子を後ろに下げて床拭きシートと掃除機（2台新たに購入済み）を併用して実施する。

(3) 財務部

① 2025年度分担金4~6月分（1,122,500円）が7/28に教会銀行口座より引き落としされた。

② 「世界難民移住移動者の日」の献金を9/27（土）28（日）に行う。

(4) 総務部

教会にいらしていない高齢者対象アンケート送付について：敬老ミサにいらしなかつたご高齢者を対象に、ご自宅での聖体拝領の希望やお任せパック送付希望などをお聞きするアンケートを敬老の日のプレゼントに封入してお送りする。

(5) 管財部

② 聖堂・1F集会室用にコードレス掃除機を2台購入。

③ ガラス清掃、床ワックス清掃の作業見積り依頼中。実施は10月~11月予定。

④ 外灯のLED化工事は見積り内容チェック中。確認次第、手配予定。

(6) 典礼部

①100インチモニターの下のほうが見づらいという意見が多くあったため、管財部に依頼し、台座を作成。

これにより38センチ高くなり、内陣と同じ高さになったので、必要な時は内陣の高さでモニターを真ん中に設置可能となった。

②9/13(土)、9/14(日)は敬老のお祝い。対象者は219名。当日ミサにいらした方には教会からのプレゼントを渡す。来られなかった方には近所の方にお届けを依頼。それでも残る分は連休明けには郵送する。

なお、郵送になる方の分には、総務がアンケートを同封する予定。

お祝い当日は、行事親睦部よりコーヒー等とクッキーの提供(土曜日はクッキーの配布のみ)がある。

クッキーは福祉施設のものを使用。

③10/26(日)はフリーマーケットの開催に伴い、英語ミサは無し。

④11月は死者月で、最初の主日は「戸塚教会に関係する死者のためのミサ」となるため、祈ってほしい人の名前を入れる箱を9月下旬から用意する。

⑤11/1(土)はクリプタ合同慰霊追悼ミサ

⑥11/9(日)は七五三のお祝い。こちらも9月下旬から申し込みを開始。

⑦同11/9(日)にサンパウロの出店。ミサ前より対応。カレンダーと手帳はすでに申し込みを開始。

⑧12/6(土)、戸塚合同クリスマス会が14:00~16:00開催のため、ミサの司式は関根神父様に依頼。

⑨今週、原宿教会・聖母の修道院と顔を合わせて典礼の打ち合わせをした。

これにより、クリスマス~年始のミサのすみ分けを決定。

12/24(水)クリスマス夜半ミサ 原宿・修道院は16:30~ / 戸塚は19:30~

12/25(木)クリスマス日中ミサ 原宿・修道院は8:45~ / 戸塚は10:30~

1/1(木)新年ミサ 原宿・修道院は9:00~ / 戸塚は11:00~

いずれのミサ時間も、戸塚・原宿ともにオープンとし、どのミサに与ってもよいとする。

(7)教学部

①教会学校より

ア. 2025年度第5地区サマーキャンプ:7/31(木)~8/2(土) 函嶺白百合学園パウロ館にて

小学生3名、中学生1名、リーダー2名参加

イ. 9月14日(日)より教会学校再開 第2、第4日曜日 9:15~10:00

ウ. 10月はロザリオ月。第2週、第4週日曜日ミサにおいて教会学校生徒がロザリオを担当

②8月末図書冊数:542冊(内3冊新入庫)

(8)福音宣教部

12/6(土)戸塚合同クリスマス会:14:00~16:00

聖劇のリハーサル:12:30~ ※聖劇の担当場面は10月初めに決定。(田丸神父様より)

(9)広報部 特記事項なし

(10)福祉部

①「福島やさしい畑」販売・・・福島の支援を続けたい、ファミリーホーム等の繋がりを大切にするため、今後一年も今年度と同様に実施する。

→近所の方の来訪が少ないので、違う日時(土曜日午前中など)に設定してみてもよいかもしれない。

(11)行事親睦部 特記事項なし。

【次回 委員会の日程】 2025年10月11日 10時~

教会委員会からのお願い

〈世界宣教の日(献金)・財務部〉

「世界宣教の日」は、教皇庁信仰弘布事業が全世界に向かって毎年10月に呼びかける「世界宣教月間」の頂点です。その目的は、まだキリストを知らないたくさんの人に囲まれて生きている、洗礼を受けたすべての人に宣教の心呼び起こし、世界の福音化のために、霊的物的援助をはじめ、宣教者たちの宣教協同を各国の教会間で促進することです。この日、福音化に共通する責任を認識し、普遍性と世界の連帯を祝ったキリスト者からの献金は、各国からローマ教皇庁・福音宣教省に集められ、日本を含む世界中の宣教地に援助金として送られます。戸塚教会では10月18日と19日で献金を行います。皆様のお祈りとご協力をよろしくお願いいたします。

2025年度ミサ行事日程表

月	日	曜日	典礼歴	行事	備考
10月	4	土	年間第27主日		
	5	日		「小・中・高校生交流会」9時～ ミサ後親睦会（レクリエーション）	
	11	土	年間第28主日		教会委員会 10時～12時 ミサ後全員で掃除
	12	日		教会学校 9:00～	ミサ後全員で掃除
	18	土	年間第29主日 ※世界宣教の日（献金）		
	19	日			
	25	土	年間第30主日 ※26日（日） 英語ミサなし		ミサ後全員で掃除
	26	日		教会学校 9:00～ フリーマーケット、「福島やさい畑」販売	ミサ後全員で掃除
11月	1	土	死者の日（年間第31週） 戸塚教会に關係する死者のためのミサ	クリプタ合同慰霊追悼ミサ	
	2	日		「小・中・高校生交流会」9時～ ミサ後親睦会（レクリエーション）	
	8	土	ラテラノ教会の献堂 祝（年間第32週） 9日（日） 七五三のお祝い		教会委員会 10時～12時
	9	日		教会学校 9:00～、サンパウロ出店	
	15	土	年間第33主日	大掃除	
	16	日		大掃除	
	22	土	王であるキリスト（年間第34週） 23日（日） 13時～英語ミサ		
	23	日		教会学校 9:00～、ミサ後クリスマスの飾り付け	
	29	土	待降節第1主日		
	30	日			

ミサの時間

【主日ミサ】
 戸塚教会 土曜日=16:00
 日曜日=10:30

【平日のミサ：火曜～金曜】
 戸塚教会 火～木=9:30
 初金・金曜日=10:00

【英語ミサ】 第4日曜日=13:00



【戸塚教会】
 244-0002 横浜市戸塚区矢部町 641
 045-881-8882(電話) 045-865-2026(ファックス)
<http://totsuka-church.wixsite.com/catholic>

【原宿教会】
 245-0063 横浜市戸塚区原宿 4-35-1
 (電話) 045-851-7880

土曜日・祝日・平日のミサは行事や司祭の都合などで変更になる場合があります。

お知らせ

教会事務

住所や電話番号が変わった時は
必ず教会に連絡を・・・

所属教会に登録するのは、カトリック信徒としての戸籍が登録されていることです。住所や連絡先がわからなくなると、教会が困ってしまいますので、変更があったときは必ず連絡してください。平日は9:30～16:00の間に受付へ 土日はミサの前後に教会事務担当へ

行事親睦

10/26(日)はフリーマーケット

今年のフリーマーケットも、様々な出店が予定されています。昨年と同様、福祉施設からの出店もあり。好評だった外国籍の方々の料理もあり。食べるものもあります。

ミサ後11:30頃～14:00頃まで

各店は品物が無くなり次第閉店しますからこの日はお財布の口の紐を緩めて、早めに掘り出しものを探しましょう！

※もしも、出店申込を忘れてた…という方がおられましたら、至急、行事親睦委員までご相談ください。

典礼

11/9(日)、サンパウロの出店

待降節に向けて、四谷のサンパウロの出張出店があります。クリスマス用品はもちろん、カレンダー、手帳なども販売。修道院のお菓子もあります。ミサの前から販売を始めますので、いつもよりちょっと早く起きて、ちょっと早く家を出てみるのはいかがでしょうか。もちろん、ミサ後も販売いたします。ブラザーお勧めの本もお楽しみに。

典礼

「病者の塗油」を希望するときは
早めに司祭へ連絡を・・・

病気になったときは、司祭から「病者の塗油」を受けることができます。「病者の塗油」は秘跡です。入院する、手術を受ける、長期治療するなどのときに受けることができます。昔は「終油の秘跡」と言われ、危篤のときに受けるものと思われていましたが、危篤と言われたときでは遅いこともありますので、危ないと言われて、塗油を希望される場合は速やかに田丸神父様に連絡をしてください。

典礼

11/1(土)と11/2(日)主日ミサは
戸塚教会に関する死者のための
ミサです

毎年の通り、いのりを希望する方の名前を書いて、所定の箱に入れてください。ミサの中では個々のお名前は呼びませんが、皆で祈りをささげます。家族、親族、友人でも構いません。祈りたいと思う方の名前を入れてください。

典礼

11/9(日)は七五三のお祝い

今年の七五三は、11/9(日)のミサでお祝いをいたします。対象は3歳～7歳(4歳も6歳もOK)、男女は問わず、お祝いをいたします。洗礼を受けていなくても大丈夫。子どもはもちろん、孫も大歓迎。保育園などのお友達を誘ってくるのもよし。希望する方は、ロビーの申込用紙に記入し10/26(日)までに、典礼部員または受付に提出してください。